



箕面市生活支援サポーター養成研修の様子。カリキュラムは座学12時間+現場実習3時間(全3日)。市の補助で研修をおこなっている大阪府社会福祉事業団の米田信乃(こめだしの)さんは「介護の仕事の魅力を一人でも多くの方に伝えたい」と。写真提供:社会福祉法人大阪府社会福祉事業団

「生活支援サポーター」が 支え合いの地域をつくる

親の老後 を考える [32]

新たなライフステージに備えて

一律の予防給付から
多様な総合事業へ

3年ごとに改正される介護保険制度。前回の2015年改正で大きく変わったのが、要支援1・2の人への対応だ。従来の介護保険の予防給付から、段階的に市区町村の「介護予防・日常生活支援総合事業」(総合事業)に移行することになったのだ。で、何が変わるのか？

は「今まで全国一律の予防給付として提供されてきたデイサービスとヘルパーサービスを、地域の特性に合わせた多様なサービスに構築。緩和した基準の訪問型サービスA(掃除・洗濯・買い物などの家事支援など)を、要支援1・2の対応にのみならず、生活機能の低下がみられると判断されたかたも利用できます」と話す。訪問型サービスAの担い手となるのがヘルパーなどの有資格者に加え、専門資格はないが、市の生活支援サポーター養成研修(15時間/無料)を修了した人たちだ。

在宅生活を支える 生活支援サービス

高齢福祉室・室長の長谷川さんは、箕面市生活支援サポーター養成研修の特徴をこう話す。

「対象者の年齢制限を設けず、市内の事業所で働く予定なら市外在住者も受け入れるなど、生活支援の担い手を幅広く求める

形です。10代から80代のかたまで熱心に受講されています」。

箕面市の生活支援サポーターは、前述の訪問型サービスAの担い手として、家事支援を行う。介護人材が不足する中、生活支援サポーターが活躍するようになれば、専門職の有資格者が身体介護の現場で力を発揮できるメリットも。長谷川さんは「高齢になっても、持てる力を維持しながら、住み慣れた地域で暮らし続けていただきたい。自立支援の視点で、必要なサービスを必要の方に届けるため、担い手を増やしたい」と話す。

自助、互助、共助で 持続可能な制度に

生活支援サポーター養成研修はいまや全国の自治体で実施されているが、対象者の年齢を60歳以上に限定したり、修了後は介護施設

のボランティアとして活用したり、自治体の事情により対応は

最近、市の広報紙などで頻りに目にする「生活支援サポーター」。自治体により名称や役割は多少異なるが、生活支援サポーターが、これからの「介護予防・日常生活支援総合事業」(総合事業)の大切な一翼を担うのは間違いないだろう。箕面市の取り組みを通して考えてみたい。

Interview

箕面市 健康福祉部 高齢福祉室
室長 **長谷川 千波**さん(右)
(はせがわちなみ)
参事 **辻 紗織**さん
(つじさおり)



「生活支援サポーター養成研修の一つのきっかけに、地域の助け合いや介護の仕事に関心を持って参加いただければ」。

取材協力
箕面市 健康福祉部 高齢福祉室
☎072-727-9505

【取材を終えて】取材・文 渡部せつ子

要支援1・2は、適切な支援を受ければ、自立に戻れる可能性を秘めている。各自治体の「介護予防・日常生活支援総合事業」では、訪問型サービスAのほか、NPOやボランティア団体などが、サロンやミニデイサービスを開催するなど、多彩なサービスが用意されている。問い合わせ相談は、お住まいの市役所または地域包括支援センターへ。

様々。ただし、元気な高齢者が虚弱な高齢者を支える、あるいは助け合い、介護予防に努めるといった理念は共通だ。超高齢化、財政難と厳しい環境の中、介護保険を持続可能な制度にするためにも、支え合いの地域づくりが求められている。生活支援サポーターはその地域と介護のつなぎ役として、社会を少しずつ変えてゆくのではないかと。あなたも研修に参加してみませんか？

神戸のJリーグクラブ・ヴィッセル神戸を応援しよう

ヴィッセル通信

Vissel Kobe
協力/ヴィッセル神戸
取材・文/シティライフ編集部



笑顔があふれた「ウエルカム、ポルディ！」
スタジアムでスーパープレーを観よう!!

7月6日(木)、ヴィッセル神戸に元ドイツ代表のルーカス・ポドルスキ選手が加入。1,000人を超えるファンやサポーターが出迎えたウエルカムイベントと多くのメディアが集まった記者会見に編集部も参加してきました。

● 神戸空港到着から記者会見まで、編集部が見たポルディはやさしくておちゃめなナイスガイ!



歓迎の放水を浴びながら到着。



チャーター機を降りると、大歓声。



この2ショットは宝物ですね。



サポーターと記念撮影。



(C) VISSSEL KOBE
7/9(土)の仙台戦の前には、同じく新加入のハーフェンマイク選手(写真左)と共にサポーターに挨拶。



三木谷会長は「ポドルスキ選手を皮切りに、世界のスーパースターがどんどんJリーグに来るような流れになればいいかと願っております」とコメント。



モービーのオブジェも、自らくると反転させて、報道陣の方に向けてくれました!!



Lukas Podolski
ルーカス ポドルスキ選手 [FW.10]
生年月日/1985.6.4 身長・体重/182cm・83kg
国籍/ドイツ、ポーランド

大いなる力を得て、
リーグ後半戦へ始動!

この日、ドイツから関西国際空港に降り立ったポドルスキ選手はチャーター機に乗り換えて、神戸空港に到着。姿が見えると詰めかけた多くのサポーターから「ポルディ！」と歓声が上がると、ポドルスキ選手も笑顔が弾ける和やかなムードに。その後、長旅の疲れもなんのその。約30分にも渡って、ファンやサポーターからのサインや写真撮影に応じていたポドルスキ選手。編集部も間近でその姿を見ていて、丁寧な対応ぶりに感動しました。

その後、市内のホテルで三木谷浩史会長とともに会見に臨んだポドルスキ選手は「ファン・サポーターの方には、今までトレーニングしてきたことを全部見せられるように頑張りたい。もちろん、今までの経験をチームメイトに伝えていくことも大切だと思っています。ファンの方々には、たくさんのお見せしたいと思っていますし、私自身、サッカーを楽しむことが大事になると思っていますので、楽しんでプレーしているところを見ていただきたいと思います」とコメント。8月はそのプレーを観にぜひ、ノエビスタジアム神戸へ!

● 8月のホーム試合 @ノエビスタジアム神戸 地下鉄海岸線「御崎公園」下車徒歩5分

8/9(水) (KO19:00) vs 鹿島アントラーズ

8/19(土) (KO未定) vs 横浜F・マリノス

※8/20(日)開催の可能性あり

チケット&シーズンシート情報はヴィッセル神戸HPにて www.vissel-kobe.co.jp
☎078-651-1222(平日10:00~17:30) FAX 078-685-5502

FCケルン(ドイツ)でプロサッカー選手としてスタートしたポドルスキ選手。その後、バイエルン・ミュンヘン(ドイツ)、アーセナル(イングランド)、FCインテル・ミラノ(イタリア)、ガラタサライ(トルコ)と世界の名だたるクラブでプレー。またドイツ代表としても通算130試合出場、49ゴールという輝かしい実績を持つまさに超一流のプレーヤー。来日の翌日には練習に合流し、破壊力のあるシュートを見せたそう。ああ、期待が高まります!!

by 編集担当まつづ